

J Sights Corporation

タイ出張記 ―― 留守番のはずがバンコク・FI Asia へ

2025年9月24日

J サイト株式会社 齋藤 政人

FI Asiaが9月17日(水)～19日(金)までBangkokで開催されました。弊社からは2名の関係者が出席するので私は留守番役を決め込んでいたのですが、そうもいかなくなってしまい、出張してきました。以下、所感も含め簡単にご報告します。

Muntons Plc. タイ工場

英国Muntons Plc.のタイ工場を視察してきました。バンコクから南に約2時間Srirachaにあります。



ここでは英国から搬入されたMalt Extract (Liquid)をパウダーに加工し、タイ国内販売を含めたアジア地域に販売しています。モルトというとビール・ウイスキー向けの醸造原料というイメージが強いのですが、モルトエキスは加工食品分野で幅広い用途があります。Key WordはTexture(食感)・Flavor(風味改善)・Color(色づけ)とのことで、製パン・製菓原料としてのみならず、加工水産物・加工畜産物向け用途もあるかもしれないと感じた次第です。



FI Asia

バンコクにて開催され、9月18日(木)と19日(金)の2日間、参加してきました。以前から申し上げている通り、弊社はタンパクに強い会社を目指しています。動物性タンパクのメーカーは4社、その他のタンパク系メーカーも4社と面談し情報交換を行いました。また、ブースは出していませんでしたが、米国の牛血清由来のアルブミンメーカーとも日本市場における販売戦略について打合せをしました。どれもかなり専門性の高い分野ですので、営業戦力の拡充を含め、いろいろな方策を考えていることを説明しました。



FI Asiaには初めて参加しましたが、昔、日本のFoodexもこんな感じだったなと懐かしくなる雰囲気でした。残念なことに日本人の姿をあまり見かけず、相変わらず外にはあまり出てこない国民性を感じた次第です。

一方、日本の評価は以前より高まっているとも感じました。あくまで私個人の感覚ですので間違えているかもしれませんが

J Sights Corporation

んが、高度経済成長期の日本は、軍事力の次は経済力で海外(特にアジア)を支配しようとしているのか?と疑問視されていましたが、中国の脅威が台頭するとともに(米国もアメリカ第一主義であり頼りにならない?)、中国に対抗できるのは日本だけという意味で評価が高まっていると感じました。

いずれにせよ、日本国内ではGDPが世界4位となった結果、負け組のような悲観論が横行していますが、世界4位でも経済大国であることは間違いなく、かつ、海外では評価が高まっていること(私だけが感じているのかもしれません)も含め、もっと自信を持ち海外に出て広く情報を収集し、日頃の業務に活かすべきと感じました。

出張前には留守番役を決め込んでいた私ですが、そういう姿勢を反省した次第です。



今回ご紹介しているサプライヤーの製品をはじめ、たんぱく商材を数多く取り扱っております。ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

[お問い合わせフォーム](#)